

HESED外国語学校世田谷校 自己点検・評価項目表

日本語教育の告示基準(法務省出入国在留管理局)の第一条第一項第十八条に従い、当校に関する自己点検・評価を行い、報告書を作成しました。

尚、報告書の作成に当たり、点検・評価項目のリストは、文部科学省作成による「専修学校における学校評価ガイドライン」と日本語教育振興協会作成による「日本語教育機関のための自己点検・評価項目」を参考にして作成したものです。

総括(達成状況など)

長期に渡るコロナの影響下で苦しい状況を脱したとは言えないが、少なくとも予定した数のクラスを開講し、対面授業が行えたことから教育面でかなり正常化できた。学生の留学の目的達成を第一の目標とすることに変わりはないが、学生を取り巻く状況が安定しないため、学生自身が目的を見失ったり、迷ったりすることも多く、個々に寄り添いながらクラス全体を運営することの難しさを特に感じた。また、コロナ感染の疑いや実際の感染によって代講が多く発生し、授業は計画通りに進められたものの、本来の熟達度には至らない時間もあつたと思われる。授業の形式も年中行事に伴う飲食や歌などを取り入れられなかつたりしたため、楽しく文化的な体験をする機会が失われ、単調になったきらいがある。同様に課外授業も屋外での実施を重視したことにより、活動の幅が狭められた。このように不本意なことは多かつたが、制限の中で工夫することや、予定外の事態に対処する経験を積んできた結果、どんな場合も落ち着いて一貫した指導・支援を続けていくことができた。

今年度卒業・進学した学生達は来日当初の予定とは違う進路を選んだ学生も含め、それぞれが納得して希望する道に進めたことは喜ばしい。

そしてようやく日常の活動が制限から解放され、これからより自由に学校運営に取り組むことができる。これまでの経験を生かして明るく、力強く、新しい社会に即した学校づくりを進めていきたい。

課題・改善計画

大きな課題として、まず、正常化を図りたい。日常の授業はほぼ目標を達成する水準で行われているが、教員の研修等を行う時間的余裕がなかつたので、今年度は改めて研修計画を立てて実行したい。また課外授業や文化的な体験なども機会を増やし学生の学びの幅を広げていきたいと考える。その上で将来構想について基本から見つめ直したい。この数年で社会が大きく変わり、学生の進路希望にも変化が見られる。これを踏まえて募集の現場や教室で得た実感と社会情勢の両方から学生の需要を正しく把握し、それに応える教育内容を整えていく。最後に、まだ経済的に回復したとは言えないが、危機的状況を脱する方向へ進み始めた今、防災の備えを充実し、地域貢献・社会貢献について積極的に考える時間を設け、人員も配置したい。

- 評価基準
- 4 適切に対応している。今後も更なる向上のために努力する意欲がある。
 - 3 ほぼ適切に対応しているが、不十分なところもあり改善が必要である。
 - 2 対応が十分ではなく、課題を分析し、改善に向けて取り組む必要がある。
 - 1 対応しておらず、改めて学校の方針から見直し改善する必要がある。

1. 教育理念・目的・育成人材像

- | | 評価 |
|--------------------------------------------|---------|
| (1)学校の教育理念・目的・育成人材像は明確に定められているか | ④ 3・2・1 |
| (2)学校の教育理念・目的・育成人材像が社会のニーズなどを踏まえたものとなっているか | ④ 3・2・1 |
| (3)国際情勢や社会のニーズなどを踏まえた将来構想を抱いているか | 4 ③ 2・1 |
| (4)学校の教育理念・目的・育成人材像が学生・教職員関係者等に周知されているか | 4 ③ 2・1 |

2. 学校運営

- | | |
|------------------------------------------|---------|
| (1)学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか | ④ 3・2・1 |
| (2)学校の理念や目的に沿った運営方針・事業計画が策定されているか | ④ 3・2・1 |
| (3)意思決定が組織的になされ、かつ効果的に機能しているか | ④ 3・2・1 |
| (4)人事・給与に関する規定等が整備されているか | ④ 3・2・1 |
| (5)業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ組織的におこなわれているか | ④ 3・2・1 |
| (6)法令遵守のためにコンプライアンス意識を高めるための取り組みをしているか | ④ 3・2・1 |
| (7)教育活動等に関する情報公開が適切に行われているか | ④ 3・2・1 |
| (8)入国管理局・関係諸官庁への届出・報告を滞りなく、行っているか | ④ 3・2・1 |
| (9)情報システム化を進め、業務の効率化が図られているか | 4 ③ 2・1 |

3. 教育活動

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| (1)教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針・進度が策定されているか | ④ 3・2・1 |
| (2)修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | ④ 3・2・1 |
| (3)カリキュラムはシラバスに沿って体系的に構成されているか | ④ 3・2・1 |
| (4)授業評価の実施・評価体制はあるか、また適切に行われているか | ④ 3・2・1 |

- (5) 成績評価・進級・修了・卒業の判定基準は明確になっているか ④ 3・2・1
- (6) 日本語能力等の検定試験取得に向けた指導体制やカリキュラムが組まれているか ④ 3・2・1
- (7) 理解度・到達度を適宜確認し、適切なクラス編成を行っているか ④ 3・2・1
- (8) 教員の指導力育成・資質向上のための研修会等の取り組みが行われているか 4 ③ 2・1
- (9) 職員の業務能力開発のための研修等が行われているか 4 ③ 2・1
4. 学習成果
- (1) 進学率の向上が図られているか 4 ③ 2・1
- (2) 検定試験等の資格習得率の向上が図られているか 4 ③ 2・1
- (3) 退学者を軽減するための指導や対策がうまく機能しているか 4 ③ 2・1
- (4) 卒業生の進路(進学先やその後のキャリア)を適切に把握しているか ④ 3・2・1
- (5) 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、在学生への教育活動の改善につなげているか 4 ③ 2・1
5. 学生支援
- (1) 交通安全・防犯ビデオ等を使用して、生活に関するオリエンテーションが行われているか ④ 3・2・1
- (2) 入学時より学生の希望進路を把握し、一貫した進路指導が行われているか ④ 3・2・1
- (3) 学生の生活状況についても定期的に調査し、学生相談に関する体制も整備されているか ④ 3・2・1
- (4) 奨学金等学生に対する経済的支援体制が整備されているか 4 ③ 2・1
- (5) 学生の健康管理を担う組織体制はあるか 4 ③ 2・1
- (6) アルバイトに関する調査を行い、指導・支援を行っているか ④ 3・2・1
- (7) 保護者と適切に連携して、学生指導を行っているか ④ 3・2・1
- (8) 卒業生への支援体制はあるか ④ 3・2・1
6. 教育環境
- (1) 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ④ 3・2・1
- (2) 学内における安全管理体制が整備されているか ④ 3・2・1
- (3) 学習効率を図るための照明や遮音性が確保されているか ④ 3・2・1
- (4) 自然災害や緊急時における体制は整備されているか 4 ③ 2・1
7. 学生受け入れ募集
- (1) 学生募集活動は適正に行われるか ④ 3・2・1
- (2) 学生募集活動において、カリキュラム等の情報が正確に伝えられているか ④ 3・2・1
- (3) 学生募集活動において、日本での留學生活についての情報の正確に伝えられているか ④ 3・2・1
- (4) 学納金は妥当なものとなっているか ④ 3・2・1
8. 財務
- (1) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ④ 3・2・1
- (2) 予算・収支計画は有効性及び妥当性がも保たれているか ④ 3・2・1
- (3) 財務について会計監査が適正に実施されているか ④ 3・2・1
- (4) 財務情報を公開する体制は整備されているか ④ 3・2・1
9. 法令等の遵守
- (1) 出入国管理関係・日本語学校設立基準等の法令が遵守されているか ④ 3・2・1
- (2) 個人情報保護のための対策が取られているか ④ 3・2・1
- (3) 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ④ 3・2・1
- (4) 自己評価結果の公開が適切に行われているか ④ 3・2・1
10. 社会貢献・地域貢献
- (1) 学校の教育資源は施設を活用して社会貢献・地域貢献の取り組みが行われているか 4 ③ 2・1
- (2) 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか 4 ③ 2・1
- (3) 地域や社会に開かれた開講座等を実施しているか 4 ③ 2・1